

第4章 私たちの北海道

【日本地図を広げて】



わたしが住む北海道について話し合い、学習問題を作りましょう。

日本は、弓のように曲がった、細長い形の、海に取りかこまれた国です。全部で47の都道府県に分かれており、それぞれは、形や気候、特産物などに違いがあります。地図帳や教科書で見つけたことを、みなさんでくらべ合いましょう。



47もあると、名前を全部覚えるのも大変そうです。



最初は、都道府県名を聞いて位置がだいたいわかれば十分です。地形や特産品を調べると、その土地の暮らしや気候が想像できるようになります。



北海道では、じゃがいもやとうもろこし、海の幸などがたくさんとれます。



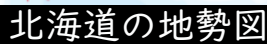
沖縄は南の島だから、パイナップルやさとうきびは特産品だけど、肉牛も特産品でした。

学びのポイント

自分たちが住む北海道が、日本のどこにあるか確かめよう。

自分たちが住む北海道について知っていることや地図帳を見て気づいたことを伝え合おう。

【北海道の地形を見てみよう】



地図の中には、それぞれの
土地の性質を伝えるための
工夫があります。

・色の^{いろ}違い^{ちが}によって、土地^{とち}の高^{たか}さが表^{あらわ}されていることに注^{ちゅう}目^{もく}する。

・道^{みち}内^{うち}のど^どこにど^どのような地^ち形^{がた}が見^けられるか、読^よみ取^とる。

第4章 私たちの北海道

【北海道の土地の使われ方を見てみよう】

3年生のとき、まちの土地の利用について調べました。4年生では、北海道の土地利用について調べます。

北海道の土地利用については、すでに調査がなされ、土地の使い方ごとに使われている広さがわかっています。あわせて、土地の使われ方と場所の関係がわかる地図がありますから、それらを見て、どのような土地が、どのような目的で使われているのかについて話し合ってみましょう。



調査によると、北海道では道央には田（水田）が多く、その他の地域は畑が広がっていることです。田は約1/7、森林は約2/3を占めています。右の地図の白いところの多くは森林なのです。



地図を見ると、田・畑・牧草に使われている場所が、あまりまざり合わず、それぞれが集まっているようです。何か、理由があるのでしょうか。



北海道では、どのように土地が使われているのでしょうか。

学びのポイント

道内の土地は、どのように使われているか調べよう。

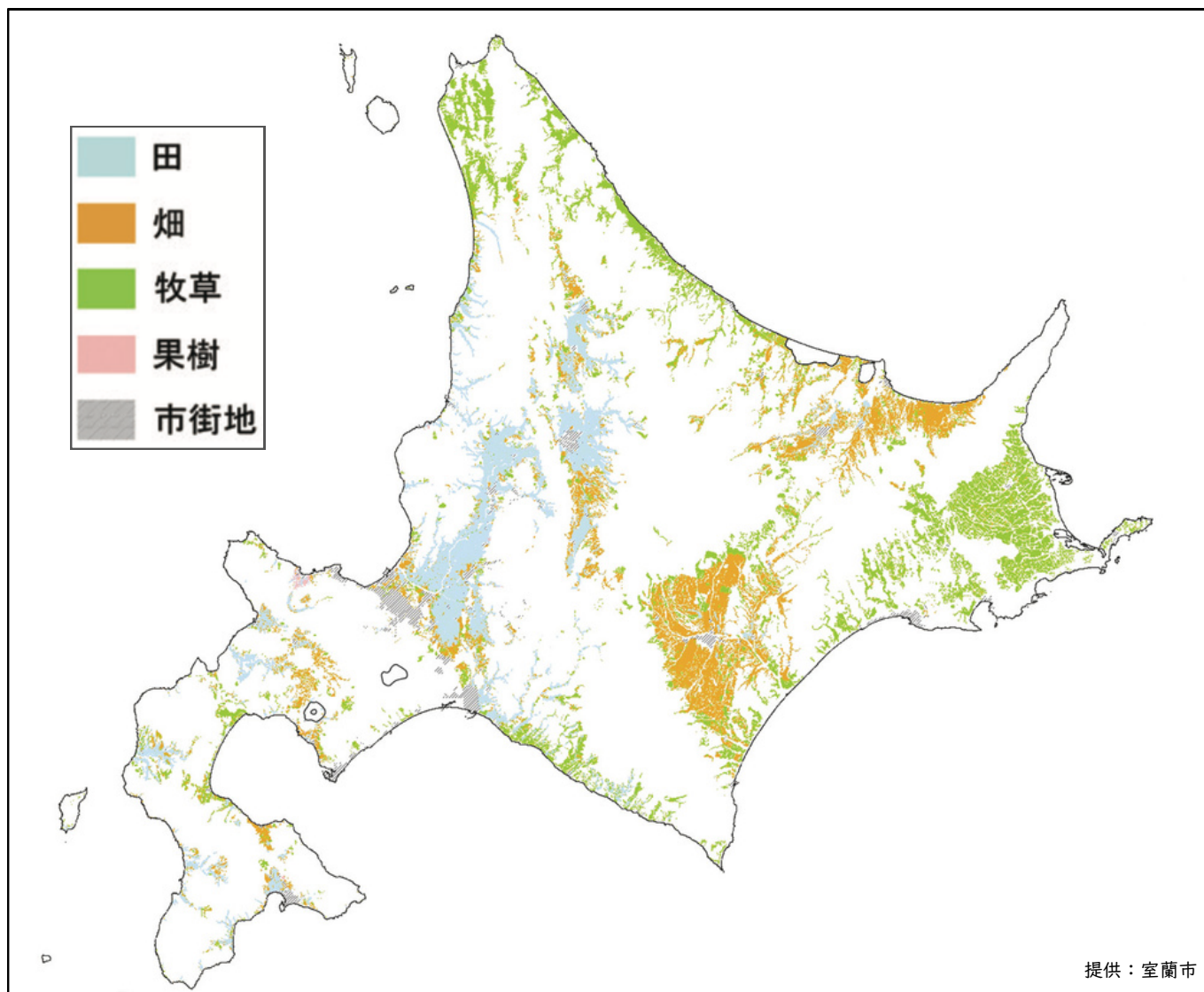
道内の地形と土地利用の関係について話し合おう。

言葉

土地利用

地形や気候などの自然条件を生かして土地を利用することで、暮らしや産業の発展につなげることができます。土地利用の様子を調べると、その地域の暮らしや産業の工夫が見えてきます。

第4章 私たちの北海道



水田が多い「道央」とはど
このことか調べてみよう。
畑が多いのは十勝地方か
な。じゃがいもやとうもろ
こしの畑のイメージです。



地域によって、土地の使わ
れ方や作られる作物が違
います。北海道では、自然の
様子と人の暮らしがうまく
つながっています。



学びの手引き

土地利用図を読み取る
道内の土地の
使われ方を考える

- ・道内の土地の使われ方を表している。
- ・田や畑、牧草地などはどのような地域に多いだろうか。
- ・市街地はどのような地形の場所に多いだろうか。

第4章 私たちの北海道

【北海道の市や町、村】



《北海道各地の特色ある景色》

ここでは「北海道の中にある市町村」について考えます。北海道には、現在179の市町村があります。これらの市町村と北海道の関係について調べてみましょう。

北海道の市町村
二次元コードはスキャン

ここを
クリック



質問です。県や道にはどんな役割があるのですか。

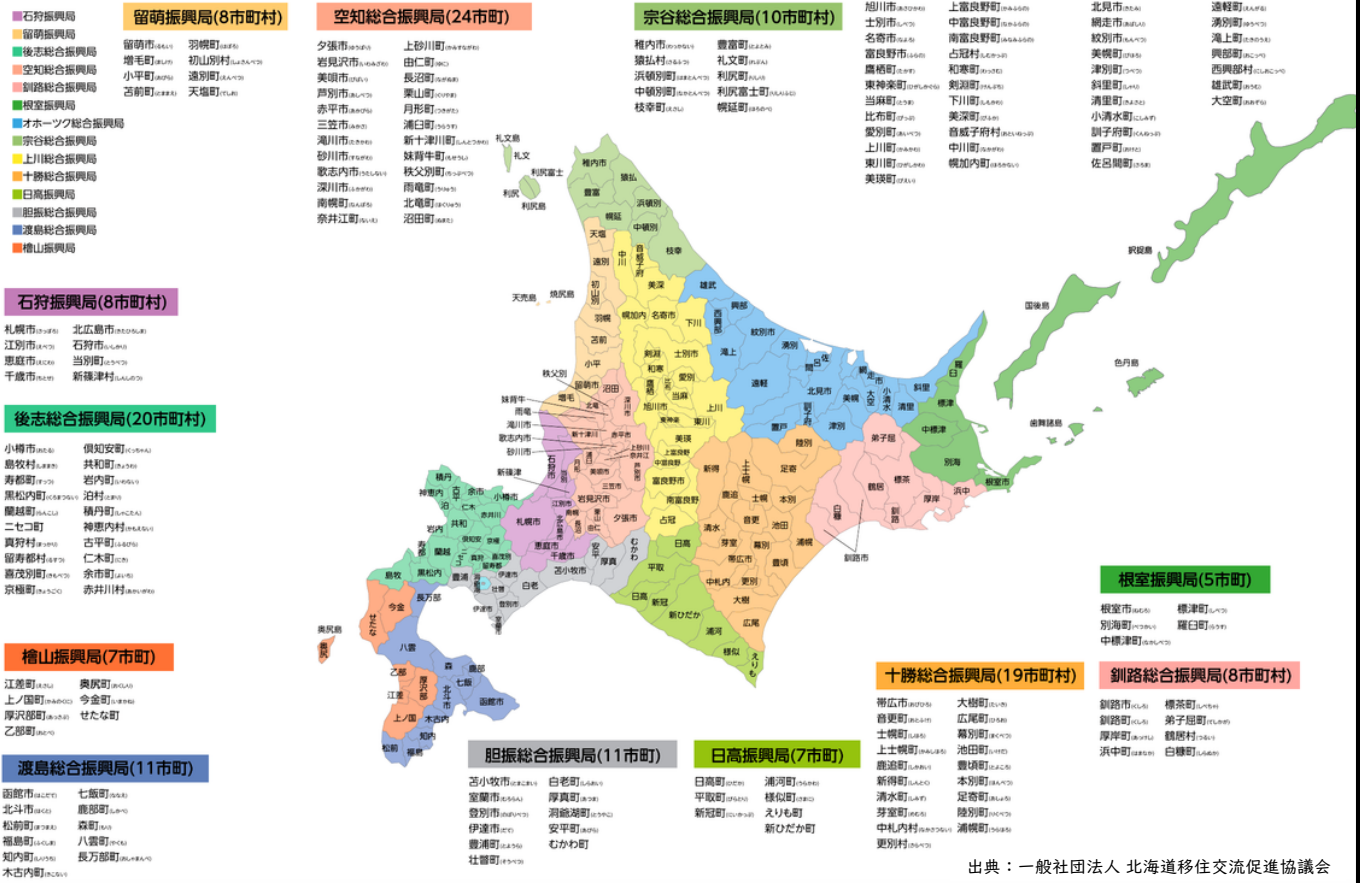


県や道の役割は、大きな道路や大きい川の管理など、一つの市町村だけではできない仕事をする事です。



でも、市町村によっては、札幌市にある北海道庁から何百キロメートルもはなれているため、管理をするには不便なのではないでしょうか。

北海道市町村区域図



北海道は大きいので、他の県のように、北海道全部を1カ所で管理するのは難しく、北海道だけは上の地図のように、小さな道庁として、全道を14の「振興局」に分けています。

二次元コードはスキャン

14総合振興局・振興局一覧

ここをクリック



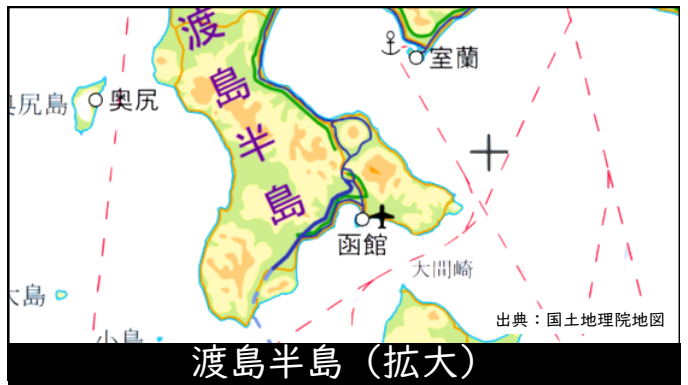
北海道はどの県よりもずっと広いのに、すべての市町村を道庁でとりまとめることができるのは、道の仕事を振興局に分けているからなのですね。

振興局の仕事は、道路や川の整備、自然や健康を守ること、学校や警察に関わることなど、広い地域に関わる仕事があります。興味がある人は、仕事の内容を調べてみてください。

第4章 私たちの北海道

さんこう
資料

【渡島半島の市や町】



地図帳で北海道の南の方を見ると、くの字のように曲がった形の「渡島半島」と呼ばれる場所があります。木古内町は、渡島半島の中にあって、函館市に近い海沿いのまちです。



木古内町がある渡島半島には、「渡島総合振興局」と「檜山総合振興局」と呼ばれる振興局が置かれています。



渡島半島には、木古内町の他にも、多くのまちがあって振興局が「お世話」をしているのですね。

渡島半島には、木古内町の他に、函館市、北斗市、松前町、福島町、知内町、七飯町、鹿部町、森町、八雲町、長万部町、江差町、上ノ国町、厚沢部町、乙部町、奥尻町、今金町、せたな町という市町村があり、合わせて18市町になります。

それぞれのまちにも、それぞれ特ちょうがありますので調べてみましょう。

第4章 私たちの北海道

さんこう
参考
資料



大沼公園（七飯町）



白樺並木（八雲町）



木古内町と渡島半島にある他の市町村をくらべると、どんな違いがあるのか気になりました。



では、みんなで調べてみましょう。例えば、私が思いつく特ちょうを一つずつあげてみると、以下のようなものがありますが、特ちょうはこれだけではないでしょう。

函館市：人口が多く、観光と港のまち

北斗市：北海道新幹線の新函館北斗駅がある

松前町：北海道でただ一つの城下町

七飯町：りんごが名産で、大沼国定公園がある

森町：「いかめし」が名物

八雲町：酪農が盛ん

江差町：歴史ある港町



渡島半島の他のまちをいくつか選び、共通点や違いを見つけ、表にしてみたいと思います。

第4章 私たちの北海道

【北海道の特色あるまち】



札幌市



旭川市



函館市

北海道の人口が多いまちについて調べましょう。インターネットの検索サービスで「北海道 都市 人口」と入れて、人口が多い都市を順に3つ探しましょう。

それぞれの市のホームページを見つけて、「市の名前」「場所」「人口」「歴史」「産物」などの項目のある表を作ってみましょう。また、地図帳の縮尺や電子地図を使って、それぞれのまちとまちの間のきよりも調べましょう。



北海道のまちについて、インターネットで調べる前に、人口が多い都市はどこかを想像してみるのも面白いですね。



木古内町から札幌市までは、何キロメートルという数字だけでは、どれくらいの遠さかわかりにくいです。



そういうときは、地図帳を開いて、縮尺を使い木古内町から札幌市までのきよりを測りましょう。さらに、木古内町から函館市までのきよりを測ってみましょう。そうすれば、函館市にくらべて札幌市が何倍くらいはなれているかがわかりますね。